No.73

平成 17 年 7 月 31 日　発行

千環協ニュース

主な内容

1．平成 17 年度（第 29 回）通常総会
2．平成 17 年度役員紹介
3．平成 17 年度合同委員会
4．TOPICS　30 周年記念事業実行委員会からのお知らせ
5．理事会報告
6．活動ﾚﾎﾟｰﾄ　第 41 回千環協ゴルフコンペ
7．活動ﾚﾎﾟｰﾄ　平成 17 年度新任者教育講座
8．活動ﾚﾎﾟｰﾄ　平成 17 年度研修見学会
9．寄稿　「タイ国雑感」
「安定した受注をめざして、別の視点から」
「FT/IR バリデーション」
10．会員名簿
編集後記

千 葉 県 環 境 計 量 協 会

Chiba Prefectural
Environmental Measurement Association

目　次

頁

1．平成１７年度（第２９回）通常総会 …… 1
1-1. 総会挨拶（会長　津上　昌平） …… 1
1-2. 平成１７年度（第２９回）通常総会報告 …… 3
1-3. 平成１７年度事業計画 …… 5

2．平成１７年度役員紹介 …… 6

3．平成１７年度合同委員会 …… 8
3-1. 会長挨拶（会長　津上　昌平） …… 8
3-2. 担当委員一覧及び委員会別活動計画 …… 9
3-3. 計量検定所伝達事項（千葉県計量検定所　指導課） …… 14

4．TOPICS　30 周年記念事業実行委員会からのお知らせ …… 16

5．理事会報告 …… 17

6．活動レポート　第４１回千環協ゴルフコンペ …… 19
第４１回千環協ゴルフコンペに優勝して
（日本軽金属㈱　石澤　善博）

7．活動レポート　平成１７年度新任者教育講座 …… 21
平成１７年度新任者教育講座を終えて（イカリ消毒㈱　中田　和恵）
平成１７年度新任者教育講座を終えて（㈱ユーベック　伊藤　正之）

8．活動レポート　平成１７年度研修見学会 …… 24
研修見学会を振り返って（企画委員長　堀内　達雄）
平成１７年度研修見学会ﾚﾎﾟｰﾄ（㈱コスモス　伊藤　憲昭・磯貝　純美）

9．寄稿　「タイ国雑感」（ｾｲｺｰｲﾝｽﾂﾙﾒﾝﾂ㈱　千環協顧問　名取　昭平） …… 31

「安定した受注を目指して、別の視点から」
（㈱環境技術研究所　青柳　幹夫） …… 37

「FT/IR バリデーション」（イカリ消毒㈱　太鼓地　洋昭） …… 39

１０．会員名簿 …… 40

編集後記 …… 巻末

1．平成17年度（第29回）通常総会（平成17年4月22日）

1－1．会長挨拶

千葉県環境計量協会
会長　津上　昌平

只今ご紹介いただきました、当協会の会長を務めさせていただいております、習和産業株式会社の津上昌平と申します。本日の平成17年度、第29回の通常総会の開会に当り、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はお忙しい中、多数の会員の方々にお集まりいただいております。また、ご来賓としまして、関係団体から(社)日本環境測定分析協会の岡崎様、(財)千葉県薬剤師会検査センターの出浦様をお迎えしております。協会を代表して厚く御礼を申し上げます。

さて本年2月に地球温暖化防止に向けて、懸案となっていた京都議定書が発効しました。来年度に予定されている大気汚染防止のためVOC規制とあわせて、新しい環境規制の枠組みが動き出したところです。また、欧州での製品中の化学物質の規制に関連した、RoHs指令による成分分析のニーズなど私たちを取りまく環境も目まぐるしく変わってきております。さらに社会的責任を問われる企業倫理、コンプライアンスの問題、個人情報の保護を含めた社会環境の問題など、さまざまな環境データを取り扱う事業者として避けて通れない重要なテーマがいくつかございます。今後はこれらの環境の変化に対応して、協会としての活動に取り組んでいきたいと考えております。

当協会は昭和51年に創立後本年で29年目を迎え、来年2006年6月で創立30周年の節目を迎えます。今年度よりその記念事業の準備を始める計画です。また、後ほど議題の中でもご報告いたしますが、協会活動のPRと会員相互の情報交換をより活発に行うことを目的として、昨年度の年度末にホームページを開設いたしました。今

年度はこのホームページを会員の皆様への情報発信に活用すると共に、その他の活動についても一部見直しを行い、今後の協会活動をさらに実のあるものとしていきたいと考えております。そのためにも、協会活動に対して会員各社の皆様のなお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

本日はこれより協会規定に基づき第29回の通常総会を開催いたします。昨年1年間の活動報告、収支決算、本年度の事業計画及び予算案につきましてご審議いただく予定です。本日出席されている会員の皆様からも、協会活動に対してよりご理解いただきたく、活発なご討議と忌憚のないご意見をお願いいたします。

以上簡単でございますが、開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

１－２．　平成１７年度（第２９回）通常総会報告

千葉県環境計量協会

１．　　開催年月日：平成１６年　４月２２日（金）14：00～16：00
２．　　場　　所：プラザ菜の花
３．　　出席会員　：３１社（委任状１７）　計４８社
４．　　会長挨拶　：千葉県環境計量協会　　津上　昌平　会長
５．　　議　　題：（１）第１号議案　平成１６年度　事業報告の件
（２）第２号議案　平成１６年度　決算報告の件
会計監査報告
（３）第３号議案　平成１７年度　事業計画（案）
（４）第４号議案　平成１７年度　収支予算（案）

総会は、日本軽金属㈱石澤理事の司会で開催され、出席会員の３１社、委任状提出１７社、合計４８社の出席で規約１６条により会員数の１／２以上の出席を満たしており、総会は成立するとの宣言がなされた。

（１）　第１号議案及び第２号議案について、㈱新日化環境エンジニアリング内野副会長より説明後、会計監査報告を日建環境テクノス㈱丸山監事より監査報告があり全会一致で承認された。

現在の役員は下記の通り
３月末をもって技術委員長：廣野 耕一氏（㈱住化分析センター）が退任され、後任として㈱住化分析センターの村上 雅志氏が就任された。

会　　長	津上 昌平氏	（習和産業㈱）
副 会 長	菅谷 光夫氏	（㈱ダイワ）
副 会 長	内野 洋之氏	（㈱新日化環境エンジニアリング）
業務委員長	藤谷 光男氏	（中外テクノス㈱）
総務委員長	石澤 善博氏	（日本軽金属㈱）
企画委員長	堀内 達雄氏	（キッコーマン㈱）
技術委員長	村上 雅志氏	（㈱住化分析センター）
広報委員長	吉本 優氏	（㈱環境管理センター）
監　　事	福田 文二郎氏	（JFEテクノリサーチ㈱）
監　　事	丸山 孝彦氏	（日建環境テクノス㈱）

（２）　第３号議案及び第４号議案について、㈱ダイワ菅谷副会長より説明後、全会一致で承認された。

（３）　特別表彰

技術委員長の㈱住化分析センター：廣野 耕一氏が、３月末をもって退任され、多大の貢献に対し、特別表彰された。

以上の内容を全て承認のうえ、第２９回通常総会が終了した。

署名人（株）ダイワ 伊藤祐一 ㊞

署名人 日本環境（株）宮本敦夫 ㊞

1－3．平成17年度　事業計画

多様化する環境問題への対応の一番の基礎となるのが、我々が日々提供している環境計量証明データであり、その重要性は今後益々拡大すると予想されます。

本協会は創立29年目を迎え、来年2006年の創立30周年に向け、会員各社のさらなる結束を固めつつ、業界団体と致しましても、より一層の分析技術の向上、精度管理、信頼性の確保に努力致したいと考えます。また、このような背景から、本年度は次のような事業を行い、会員各社の発展に寄与致したいと思います。

1．研修会・講演会等の実施
技術の習得や、知識の向上を図るため、研修見学会、講演会等を実施する。

2．技術事例発表会、新任者教育、経営者交流会の実施
技術委員会の下に、計量管理、クロスチェック等のワーキンググループ活動を行い、その研究成果を発表するとともに、会員による測定分析についての技術事例の発表会を実施する。また、経営問題懇談会の主催により、新任者教育、経営者交流会、勉強会を適宜開催する。

3．共同実験とパネルディスカッションの実施
会員相互の技術レベルの向上を図るため、共通試料を用いたクロスチェックを行い、その結果を基に、パネルディスカッションを実施する。

4．情報の収集と提供
官公庁、日環協、首都圏環協連等から関連情報の収集に努め、研修会、会誌等を通じて会員に提供する。また、会員への情報提供、協会活動のPR、会員相互の情報交換のためにホームページを活用する。

5．倫理規定の作成
環境分析の重要性を認識し計量証明事業者としての社会的責任を果たすため、協会会員の行動規範となる倫理規定を作成する。

6．協力関係
千葉県計量協会、日環協関東支部、首都圏環協連等の関連団体の各事業に参画し、技術情報等を収集する。

7．親睦関係
会員相互の親睦を深めるため、ソフトボール大会等の催しを行う。

8．創立30周年記念行事関係
2006年7月の開催を目途に準備委員会を発足し対応する。

2．平成17年度役員紹介

会　　　長：津上　昌平
（習和産業㈱）

昭和３１年６月２７日　長崎県生まれ
－趣味・特技－
旅行（街歩き、食べ歩き、飲み歩き），音楽鑑賞（トロンボーン演奏），スポーツ観戦（阪神ファンです。）
－千環協活動に対する抱負－
千環協の会長として二期、4年目となりました。
来年度の協会創立30周年に向けて、いろいろなネットワークを活用して協会会活動をさらに活発にしていきたいと考えています。
会員の皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

副　会　長：菅谷　光夫
㈱ダイワ）

昭和３２年５月１５日　千葉県生まれ
－趣味・特技－
ゴルフ（最近はブッツケ本番でスコアはいまいちですが）、ＤＶＤ鑑賞（洋画）
－千環協活動に対する抱負－
副会長として会長をサポートするとともに経営懇談会、総務委員会、業務委員会の管掌担当として、また首都圏環協連、今年度から日環協の企画運営委員として会員皆様のお役に立てるよう関係団体と　協力しながら充実した会の運営にあたりたいと考えております。また、来年７月に予定しております３０周年記念式典の実行委員長として皆様のお力添えを頂き開催出来る様がんばりたいと思います。

副　会　長：内野　洋之
（㈱新日化環境ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ）

昭和２９年８月４日　長崎県生まれ
－趣味・特技－
千環協理事になって再開したゴルフですが、早く「趣味」と言えるようになりたいのですが。
－千環協活動に対する抱負－
最近、毎日のように環境問題が報道されています。環境計量証明事業の役割はますます重くなっています。この時期に副会長を勤めさせていただけることを誇りに思うと同時に大変な責任を感じています。今年度は「魅力ある活動」に努め、会員交流を増やしていきたいと思っています。会員各位のご協力をお願いします。

総務委員長：石澤　善博
（日本軽金属㈱　船橋分析センター）

昭和２４年１２月２３日　福島県生まれ
－趣味・特技－
ゴルフ・釣り（川釣り）
－千環協活動に対する抱負－
総務委員会の担当となり4年目になります。総務の役割としては会員各位の懇親を深めるための活動が主になります。懇親を深める活動としては、ソフトボール大会及びゴルフ大会、新春講演会・賀詞交換会等の開催に努力していきますので、会員各位に置かれましては多数参加して頂き、より一層懇親を深める場としてください。私も努力していきます一年よろしくお願いいたします。

企画委員長：堀内　達雄
（キッコーマン㈱　分析センター）

昭和２２年１月２日　静岡県生まれ
－趣味・特技－
・決まった季節に決まったものしかできない家庭菜園
・竿を下ろすだけで釣らせてもらえる大名釣り
－千環協活動に対する抱負－
変化が激しい現代は、できるだけ多くの仲間を集めて情報を共有しあうことが時代の要望に対応していく早道と思います。更に、その仲間たちと共に、自分たちのしたいこと、やらなければならないことを広く発信することができたら、尚のことすばらしい。そのような集まりすることに微力を尽くしたいと思います。

業務委員長：藤谷　光男
（中外テクノス㈱）

昭和２３年７月２４日　山口県生まれ
－趣味・特技－
ゴルフ（なかなか成長しませんが）
カラオケ（ナツメロ歌謡専門）
－千環協活動に対する抱負－
業務委員長に任命され２年がたちました。技術の研鑽・情報収集の場として当協会の必要性は欠かせないものがあります。
これからも、業務委員長として協会活動・親睦に努力していきますので会員の皆様宜しくお願いします。

広報委員長：吉本　優
（㈱環境管理センター）

昭和３１年６月１日　福岡県生まれ
－趣味・特技－
登山（ペーパー登山になっている？）、映画鑑賞、パソコン、読書（最近数学の読み物に凝っている）
－千環協活動に対する抱負－
千環協の理事となってはや３年目です。会員各位の活用と、対外的にアピール度も高い千環協ニュースにしたいと思いつつ、活動しています。千環協ホームページも立ち上がり、一層広報の責任を感じています。これからも、是非皆様のお知恵とお力を貸していただきたく思います。

技術委員長：村上　雅志
（㈱住化分析センター　千葉事業所）

昭和３９年５月１３日　愛媛県生まれ
－趣味・特技－
読書、旅行（山歩き、温泉）、ゴルフ

－千環協活動に対する抱負－
初めての理事経験でありながら、今期技術委員長を仰せつかりました。
WG活動、技術事例発表会が会員の皆様の技術、品質向上にとって少しでも役に立つものにしていきたいと思いますので、皆様の知恵とお力をお貸し頂けますようよろしくお願い致します。

３．平成17年度合同委員会（平成17年6月3日）

３－１．会長挨拶

千葉県環境計量協会
会長　津上　昌平

只今、ご紹介いただきました、当協会の会長を務めさせていただいております、習和産業株式会社の津上昌平と申します。よろしくお願いいたします。

本日はお忙しい中、多数の会員の方々にお集まりいただき、誠にありがとうございます。千環協の本年度協会活動の実質的なスタートとなります、本日の合同委員会の開会に当り一言ご挨拶申し上げます。

さて、４月の通常総会におきまして、技術委員長につきましては、住化分析センターの廣野様から村上様へバトンタッチされました。その他の理事、会長、副会長、監事等の役員につきましては、昨年度と同じ体制で活動することとなりました。今年度当協会も一部新任の理事をお迎えし、まさに新しいスタートを切ったばかりでございます。会員の皆様には、今後の協会活動により以上にご協力いただきますよう、お願い申し上げる次第でございます。

千環協も今年で設立以来 29 年目を迎えましたが、会員の皆様のお陰によりまして大変活発な活動を展開しており、日環協をはじめ近隣の協議会からも、注目されております。今年度は2006年に迎える創立30周年に向けて、記念式典や記念誌の発行などの準備のため、30周年記念事業の準備委員会を立ち上げる予定です。また、昨年度末に開設しましたホームページを皆様に有効に活用していただき、協会活動をより活発にしていきたいと考えております。

本日これより開催いたします合同委員会は、これら当協会の活動のもっともベースとなる各委員会、ＷＧの１年間の活動計画について審議いただく、大変重要な会議でございます。各委員長、ＷＧのリーダーの方には何かとご苦労をおかけいたしますが、総会にて承認されました今年度の事業計画を基に、お集まりいただいた各会員の方々とも十分に議論を尽くしていただき、より充実した活動計画を立てていただきますよう、改めてお願い申し上げます。

以上甚だ簡単でございますが、開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

３－２．担当委員一覧及び委員会別活動計画

1. 総務委員会

	氏　名	事業所名
委員長	石澤　善博	日本軽金属㈱
委　員	安田　喜孝	習和産業㈱
〃	宮本　敦夫	日本環境㈱
〃	山本　重俊	㈱環境管理センター
〃	伊藤　裕一	㈱ダイワ
〃	大谷	環境エンジニアリング㈱

予定月日	活　動　名	活動内容
4月22日	第29回通常総会	
5月20日	第41回ゴルフ大会	場所:房総カントリークラブ
10月下旬	第42回ゴルフ大会	
11月27日	第23回ソフトボール大会	案内:9月末～10月初旬
1月27日	第24回新春講演会・賀詞交歓会	
4月21日	第30回通常総会	
2006/7/7	千環協30周年記念式典	

*ソフトボールにかえてフットサルを、との意見もあるためアンケートを実施予定

2. 業務委員会

	氏　名	事業所名
委員長	藤谷　光男	中外テクノス㈱
委　員	斎藤　充	日本廃水技研㈱
〃	安村　則美	㈱三井化学分析センター 市原分析部
〃	小林　香介	環境エンジニアリング㈱

予定月日	活　動　名	活動内容
6月 3日	合同委員会	
7～8月	千環協ガイド発行	原稿作成依頼・会員名簿確認
8月末		原稿回収
9月中		原稿編集・再確認
10～11月		校正・印刷・製本
11月初旬		千環協ガイド発送
2006/7/7	千環協30周年記念式典	招待者の手配・広告の募集 環境行政/計量行政のトピック収集

注）来年度に「30周年記念式典」が執り行われる予定のため、それまでの計画予定を記載

3. 企画委員会

	氏　　名	事業所名
委員長	堀内　　達雄	キッコーマン㈱分析センター
委　員	松本　　崇	東電環境エンジニアリング㈱
〃	永田　　耕一	㈱環境管理センター
ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	内野　　洋之	㈱新日化環境エンジニアリング

予定月日	活　動　名	活動内容
7月29日	研修見学会	6月20頃:案内状送付 成田市リサイクルプラザ及び付帯設備
12月 2日	ＰＤ＆技術講演会	ＰＤ:技術委員会クロスチェック実務者を中心に討論会を実施。 技術講演会:VOCの話題を予定

4. 広報委員会

	氏　　名	事業所名
委員長	吉本　　優	㈱環境管理センター
委　員	吉野　　昭仁	習和産業㈱
〃	結城　　清崇	ヨシザワ㈱ 柏研究所
〃	伊藤　　浩征	㈱住化分析センター 千葉事業所
〃	熊田　　博	クリタ分析センター㈱
〃	安村　　弘人	ニッカウヰスキー㈱
〃	太鼓地　洋昭	イカリ消毒㈱

予定月日	活　動　名	活動内容
6月24日	第1回編集会議	構成案作成（総会・研修見学会他）
7月22日	第2回編集会議	掲載記事とりまとめ・校正
7月下旬	会誌発行	№73号印刷・発行
11月25日	第3回編集会議	構成案作成（技術発表・PD他）
12月16日	第4回編集会議	掲載記事とりまとめ・校正
12月下旬	会誌発行	№74号印刷・発行
2月17日	第5回編集会議	構成案作成（新春講演会他）
3月17日	第6回編集会議	掲載記事とりまとめ・校正
3月下旬	会誌発行	№75号印刷・発行
	30周年記念誌	詳細な構成・設定を行う （原稿の進捗に合わせて対応）
	ホームページ	メンテは理事会決裁後に実施 原稿・修正事項→理事会→メンテ （但し、会員名簿は随時改訂を行う）

5. 技術委員会

	氏　　名	事業所名
委員長	村上　　雅志	㈱住化分析センター

5-1. クロスチェックワーキンググループ

	氏　名	事業所名
リーダー	赤羽　　徹	中外テクノス㈱
委　員	吉田　　常夫	㈱上総環境調査センター
〃	竹中　　英雄	㈱新日化環境エンジニアリング
〃	片岡　　正治	日立プラント建設サービス㈱
〃	菅野　　一也	㈱住化分析センター
〃	森田　　健志	環境エンジニアリング㈱

予定月日	活　動　名	活動内容
平成17年度活動テーマ：「水溶液中の全クロム（二水準）」		
6月上旬	第1回WG	クロスチェックのお知らせ配布
7月中旬	第2回WG	実施要領・共通試料配布
8月下旬	第3回WG	分析結果報告締切
～10月末	第4回WG	結果解析・まとめ
11月11日	成果発表会	

5-2精度・計量ワーキンググループ.

	氏　名	事業所名
リーダー	村上　　雅志	㈱住化分析センター
委　員	坂井　　祐介	日建環境テクノス㈱
〃	土井　　保臣	セイコーアイ・テクノリサーチ㈱
〃	永塚　　孝幸	京葉ガス㈱
〃	永友　　康浩	㈱環境コントロールセンター
〃	佐々木　彰	㈱太平洋コンサルタント
〃	井上　　典弥	住鉱テクノリサーチ㈱

予定月日	活　動　名	活動内容
平成17年度活動テーマ：「計量証明事業とISO認証について」		
～6月末	第1回WG	計量証明・精度管理について問題点抽出のためのアンケート原案作成・配布
7月	第2回WG	アンケート回収
～8月	第3回WG	結果まとめ及び解析
10月	第4回WG	次テーマ選定
11月11日	成果発表	

6. 経営問題懇談会

	氏　　名	事業所名
委員長	岡野　　隆志	JFEテクノリサーチ㈱
委　員	菅谷　　光夫	㈱ダイワ
〃	津上　　昌平	習和産業㈱
〃	山田　　幸男	㈱日本公害管理センター
〃	青柳　　幹夫	㈱環境技術研究所

予定月日	活　動　名	活動内容
6月 3日	第1回打ち合わせ	今年度活動方針の策定·審議
7月 1日	新任者研修	場所：プラザ菜の花 時間：10:00～16:00
8月末	中堅管理者交流会(仮称)	開催についてのアンケートを実施 出欠確認·テーマ募集
12月末		アンケート結果を集計 実施内容を決定
2月末		中堅管理者交流会(仮称)の開催

7. 30周年記念実行委員会

	氏　　名	事業所名
委員長	菅谷　　光夫	㈱ダイワ
委　員	津上　　昌平	習和産業㈱
〃	飯島　　公勇	キッコーマン㈱
〃	初瀬川　ひろ美	㈱東海地質
〃	岡野　　隆志	JFEテクノリサーチ㈱

予定月日	活　動　名	活動内容
6月　3日	合同委員会(第1回委員会)	実施計画策定(案) 2006年7月7日(金)を実施予定 知事・計量検定所・環境部等への挨拶
7月　1日	拡大委員会(第2回委員会) (理事+実行委員)	実施計画決定 会場決定 収支予算計画立案
9月　2日	拡大委員会(第3回委員会) (理事+実行委員)	収支予算策定 実施計画進捗状況の確認 ｱﾄﾗｸｼｮﾝ決定・知事等関係部局挨拶
12月　2日	第4回委員会	実施計画進捗状況の確認 (記念品・功労者記念品・広告依頼)
2月	第5回委員会	実施計画進捗状況の確認 (来賓者・招待者リスト、広告募集) (知事等関係部局等来賓案内の挨拶)
3月　5日	拡大委員会(第6回委員会) (理事+実行委員)	実施計画進捗状況の確認 (来賓者・招待者リスト、広告募集)
4月	第7回委員会	実施計画進捗状況の確認 (来賓者・招待者リスト、広告募集) (会場運営詳細) (プログラム作成)
5月	第8回委員会	実施計画進捗状況の確認 (収支予算決定・会場使用詳細指示) (各担当区分の確認) (プログラム等資料印刷準備)
6月	第9回委員会	実施計画進最終確認 (来賓者・招待者・出席者最終確認) (プログラム印刷)
7月　7日	第10回委員会	実施計画最終確認 事前チェック(当日)

注）来年度に「30周年記念式典」が執り行われる予定のため、それまでの計画予定を記載

３－３．　計量検定所伝達事項

（H17.6.3　千葉県環境計量協会合同委員会）

千葉県計量検定所　指導課

平成16年度　環境計量証明事業者立入検査の結果について

1. 実施期間及び実施事業所数

(1) 実 施 期 間　平成17年2月16日～平成17年3月14日（延べ8日間）

(2) 実施事業所数　16事業所

2. 立入検査指摘事項内訳（※カッコ内の数字は該当事業所数）

(1) 指導票を交付し指導

- サンプリング方法に重大な不備。(1)
- 計量証明対象外物質を対象外である旨の記載なく証明書を発行。(1)

※大腸菌群数等を計量証明書に他の対象物質と一緒に記載せざるを得ない場合は「○○（※印）は計量法第107条の計量証明対象外です」と明確にすること。

- 計量証明書の保存が不十分。押印後の写しが保管されていない。(1)
- 事業規程の記載事項が不十分。(1)
- 事業規程・細則に制定日，変更日の記載されていない。(1)
- レベルレコーダーの検査有効期限切れ。(1)

(2) 口頭による指導

①設備に関すること

- 設備台帳の記載事項が不十分。(7)

※一機種・一様式で作成すること。製造番号，製造年月，検定・証明検査・重要な点検等の記録（外部に依頼した点検記録は一緒に保管）の漏れ。所有・賃借が混在する場合はその区分も記載。

- 設備一覧表で所有と賃借の区分が書面で明確に残されていない。(1)

②計量証明書の発行に関すること

- サンプリング計画書の記載事項（持ち出し器具，ボトル名，方法）が不十分。(3)
- サンプリング計画書，記録が事業所で保存されてない。(1)
- サンプリング地点を明確に特定できるよう（写真，図面，緯度経度等が）記録されていない。(9)
- （音圧・振動）機器構成図が具体的に記載されていない。(2)
- 試料の保存方法・時間が明記されていない。(2)
- 分析開始・終了時間の記録を時系列で管理できるよう残されていない。(1)

- 検量線の作成が 4 点未満であった。(1)
- 測定回数が 1 回であった。(1)

※原則は 2 回以上。JIS で回数が定められているものはそれに従う。同一箇所で証明実績が多いものは細則で定めた上で回数を減じることが可能。

- 証明書への転記の際にチェックした記録が残されていない。(1)
- 計量の対象及び計量の方法が公定法または JIS で定められている名称で記載されていない。(1)
- （音圧・振動）計量証明書に測定者名が記載されていない。(1)

③組織等に関すること

- 計量管理者の責務が未記載。(1)
- 細則で組織・役割分担が明確になっていない。担当者名簿が作成されていない。(3)
- 事業規程改正に伴う決裁区分が明確にされていない。(1)
- 細則の整備が不十分である。(1)

平成 17 年度　環境計量証明検査の結果について

1.　実施期間

平成 17 年 4 月 13 日～平成 17 年 4 月 15 日（延べ 3 日間）

2.　検査結果

種　類	検　査 事業所数	検査器数	不合格数
ガラス電極式水素イオン濃度指示計（ｐＨ計）	54	69	1
精 密 騒 音 計	14	56	1
普 通 騒 音 計	18	48	1
合　計	86(63)	173	3

※検査事業所数の（　）内の数字は受検者数

TOPICS

４．３０周年記念行事実行委員会からのお知らせ

今年度の通常総会で２００６年７月に当協会創立３０周年の記念式典を開催する事となりました。千葉県知事をはじめ多くのご来賓をお呼びし、歴代の会長、副会長、理事ならびに会員の皆様とご一緒に今日までの歴史ある千環協を振り返るとともに、環境計量証明事業の未来への展望を見出す新たな礎となるべく式典を考えております。各委員会からのご協力を頂き、会員皆様方の全員参加のもと開催できます様、役員委員一同心よりお待ち申し上げます。

さあ　希望の創立30周年を迎えよう！

２００６年満３０歳の誕生日を迎える千環協

会員一人ひとりが喜びを感じそれを共に分ち合い

そして

今後の展望を見出す３０周年記念式典を開催いたします。

開催は2006年7月14日

満天の星空と夜景を望める京成ホテル「スカイバンケット」

IL MIRAMARE

３０周年記念行事実行委員会
委員長　菅谷光夫
副委員長　初瀬川ひろ美
委　員　飯島公勇
岡野隆志
理事一同

5.　理事会報告

(臨時理事会)

日　時：平成 17 年 4 月 22 日　　14:00～15:00
場　所：プラザ菜の花
出席者：津上会長，菅谷副会長，内野副会長，石澤理事，藤谷理事，廣野理事，
村上理事，堀内理事，吉本理事

1．総会運営について
平成 17 年度(第 29 回)通常総会資料の内容確認。
通常総会運営スケジュールおよび役割分担の決定。
2．平成 17 年度役員人事について
役員交代の確認（廣野理事：技術委員長⇒村上理事：技術委員長）。
3．平成 17 年度予算案について
30 周年記念事業実行委員会の活動費予算化についての確認
千葉県知事等来賓、講演会テーマ、開催日程
合同委員会、事例発表会等の参加促進のための参加費低減について
4．平成 17 年度行事の方向性について
新任者研修、研修見学会、ホームページ管理と内容入れ替え、日環協の行動規範を参考とした倫理規定検討

第167回

日　時：平成17年6月3日　10：00～12：00
場　所：ﾌﾟﾗｻﾞ菜の花
出席者：津上会長，菅谷副会長，内野副会長，石澤理事，藤谷理事，村上理事，
堀内理事，吉本理事

1．年間行事計画と担当理事業務等の方針確認
各委員会における年度行事について、具体的日程を設定できるものについて日程を決め、相互に確認。
2.　合同委員会の役割分担について
合同委員会の式次第及びスケジュールについて確認。
千葉県計量検定所の立入検査概要発表について
3.　平成17年度行事日程等について
研修見学会(7/29)、拡大理事会(9/2-3)、ソフトボール大会(11/27)
技術発表会（11/11）、パネルディスカッション（12/2）、新春講演会（1/27）、次年度通常総会（4/21）
ホームページの内容変更、管理運用について

4.　報告事項

4-1.　日本環境測定分析協会（5/24）

関東支部セミナー（10/13-14）について

千環協より事例発表

4-2.　首都圏環境計量協議会連絡会（6/2）

東京（9月研修見学・30周年は2007年）、埼玉（組織改変）、神奈川（VOC講習）

4-3.　千葉県計量協会（6/22総会）

優良事業所推薦については今回見送る

5. 30周年記念行事実行委員会について

会場予算、内容、日程、各分担での確認

第168回

日　時：平成17年7月1日　　16:00～18:00

場　所：ﾌﾟﾗｻﾞ菜の花

出席者：津上会長，菅谷副会長，内野副会長，石澤理事，藤谷理事，村上理事，堀内理事，吉本理事

1．報告事項

1-1. 千葉県計量協会　通常総会（6/30）

平成16年度事業報告及び平成17年度事業計画承認

社団法人化への動き

1-2. 首都圏環境協議会連絡会

埼玉県：10月の関東支部セミナーへの千環協への協力依頼

千環協より事例発表

1-3.　日本環境測定分析協会

組織変更：関東支部長より千環協への企画委員会参加要請

2．各委員会の活動の進捗

技術委員会：6/20 クロスチェック部会で水中のT-Crを行う

業務委員会：赤本の発行について

広報委員会：千環協ニュース73号について

総務委員会：ソフトボール大会について（11/27）

企画委員会：研修見学会（7/29）について

経営問題懇談会：新任者研修について（関東支部との共催）

3．　第169回拡大理事会の件（9/2-3）

4．30周年記念行事実行委員会（理事+初瀬川ひろ子+岡野隆志+飯島公勇）

記念式典の見積り内容検討・各委員会役割と予算化の今後の方向

6．第41回　千環協ゴルフコンペ

伝統ある千環協ゴルフコンペも今回で41回目の開催となりました。今回は房総カントリークラブ　房総ゴルフ場　東コースで5月20日の穏やかな五月晴れのなかで白熱したコンペが行われました。

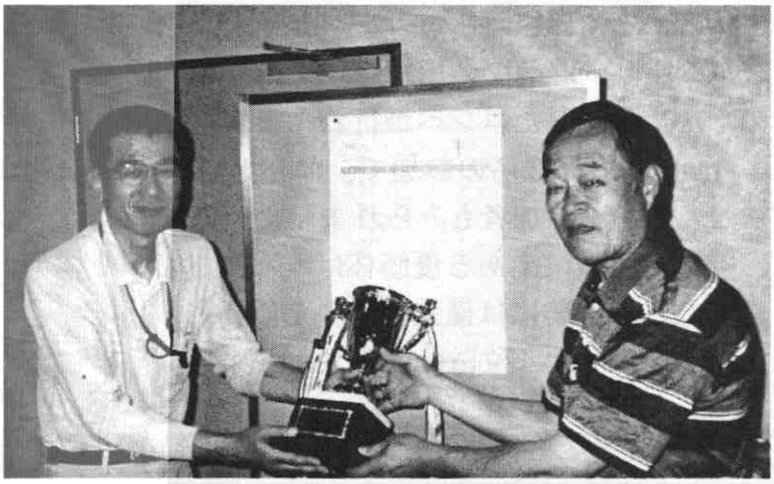
今回は総勢13名の参加で、昨年度よりはすこし参加人数が増え、千環協ゴルフこんぺの初参加者もみられました。

その中での栄えある優勝杯は，石澤さん（日本軽金属㈱）が見事手中に収めました。準優勝には僅差で破れた飯島さん(㈱キッコーマン)と菅谷さん（㈱ダイワ）が入り，4位には松尾さん（㈱環境管理センター）と続きました。

Rank	Name	ハーフ1	ハーフ2	Gross	Hdcp	Net
優　勝	石澤善博（㈱日本軽金属）	39	47	86	13.2	72.8
準優勝	飯島公勇（キッコーマン㈱）	44	53	97	22.8	74.2
準優勝	菅谷光夫（㈱ダイワ）	43	42	85	10.8	74.2
4位	松尾肇（㈱環境管理センター）	52	49	101	25.2	75.8
5位	飯塚嘉久（㈱ユーベック）	43	46	89	12.0	77.0

第41回千環協ゴルフコンペに優勝して

日本軽金属　株式会社
石澤　善博



年に ２ 回 、春と秋に行っている千環協ゴルフコンペも今回で 41 回目の開催となりました。
当日は、前日の強風もなくゴルフ日和の天気、言い訳の出来ない状況下でのスタート。
スタートホールのティーショットは何時でも、どこでも緊張するものであります。
今回幹事で、 又当日キャンセル等も有り、パターの練習、素振りも殆ど無しの何とも心許さない不安な気持ちでのティーショットでしたが、結果はフェアウェイの真ん中でナイスショットのスタートでした。
そんな慌ただしいスタートでありましたが、前半のハーフは私自身３回目の３９という好スコアで上がり、後半も頑張ろうと想っておりましたが、昼にお祝いのつもりでお酒を少々のみいい気持ちでスタートいたしましたが、案の定途中ショートホールのグリーン周りで、トラブルに会い ８ 打も打ってしまったが、何とか後半ハーフも４７のそこそこの結果で上がり、ハンディーにも恵まれ優勝する事が出来ました。
当日、一緒にラウンドして頂いた 松倉さん(日本公害管理)、安田さん(習和産業) 木下さん(環境管理)との和気藹々で楽しく一日を過ごすことが出来本当に有り難うございました。
又今大会には、顧問である名取様(セイコー)が参加され、ナイスショットの連発で 楽しい一日を過ごされたといっておりました。(次回の参加もよろしくお願いします)これからも千環協のゴルフコンペに多数参加して会員相互のコミュニケーションを図れればと思っておりますので、次回は、多数の参加をお願い申し上げます。なお、次回開催予定は、１０月 下旬 ～ １１月上旬です。

活動レポート

7．平成１７年度　新任者教育講座

平成１７年７月１日、（社）日本環境測定分析協会との共催で下記内容の新任者教育講座か開催されました。今期は１７社３３名と前年度を上回る参加者が受講されました。

場所：プラザ菜の花
時間：９：３０～１６：００

①環境計量の仕事とは　　　((社）日本環境測定分析協会　北村 哲　氏)
②労働安全衛生　　　　　　((社）日本環境測定分析協会　北村 哲　氏)
③精度良い測定のためには　(JFEテクノリサーチ（株）　岡野 隆志　氏)

No.	氏　名	事業所名	No.	氏　名	事業所名
1	中田和恵	イカリ消毒㈱	18	牧野高志	㈱東京化学分析センター
2	井俣 佳大	㈱上総環境調査センター	19	山崎允	㈱東京化学分析センター
3	濱名健太郎	㈱上総環境調査センター	20	森本俊哉	㈱東京化学分析センター
4	鮎川美由紀	㈱上総環境調査センター	21	鍋島裕也	㈱東京化学分析センター
5	上田郁	㈱上総環境調査センター	22	神所里美	㈱東京化学分析センター
6	大貫珠代	㈱環境管理センター	23	安倍秀任	㈱東京化学分析センター
7	濱野哲夫	キッコーマン㈱	24	関根裕	東電環境エンジニアリング㈱
8	三上公一	㈱三造試験センター	25	村上雅志	㈱住化分析センター
9	上遠野明久	㈱三造試験センター	26	黒田智恵美	㈱永山環境科学研究所
10	黒川晃那	㈱新日化環境エンジニアリング	27	小形実	(財)成田国際空港振興協会
11	永野寛高	㈱新日化環境エンジニアリング	28	今井靖子	日建環境テクノス㈱
12	中村顕一	住鉱テクノリサーチ㈱	29	中嶋陽一	㈱古河電工エンジニアリングサービス
13	篠崎裕二	㈱ダイワ	30	田中裕美	㈱ユーベック
14	市原浩之	㈱ダイワ	31	伊藤正之	㈱ユーベック
15	葉上恒嘉	中外テクノス㈱	32	最上博考	㈱ユーベック
16	濱田将都	中外テクノス㈱	33	佐藤一行	㈱ユーベック
17	渡辺知孝	㈱東京化学分析センター			

平成17年度新任者教育講座を終えて

イカリ消毒株式会社
中田　和恵

弊社は、環境分析と残留農薬などの食品分析の大きく分けて２種類の分析を行っています。私は、パートとして５年勤務しています。環境分析を主に２年ほど行い、現在は残留農薬分析の仕事も行っています。

勤務したての頃は、分析方法を教わり、その業務をただこなしている日々でしたが、近年は会社全体として、日頃行っている業務や広い分野において、通常業務に加え勉強会を行っています。

今回は、環境分析という原点にかえるテーマを歴史・背景などからお話があり、単なる分析・測定ではなく、測定値が重要な意味を持つものであることを再認識致しました。

精度に関するテーマは、自分にとっても現在重要なテーマであります。さまざまな分析において、業務をこなすことに精一杯なところがあり、精度や精確さには多少不十分なところがあると思います。

数値を「商品」としている以上、今後、自社において、又他社とのクロスチェック等をもっと盛んに行って精度の向上に努めて行きたいと思います。
最後に、本講座を開いてくださった関係者および講師の方々に心より感謝申し上げます

平成17年度新任者教育講座を終えて

株式会社　ユーベック
伊　　藤　　正　　之

「この金は何 kg だろう？」と、いうように物質の量を測定するということは太古の昔から行われてきました。科学・文化の発展に伴い、分析手法はより正確に小さな値まで測定できるように進化してきました。環境計量の仕事は、その分析手法を用いて環境問題に取り組むことだと思います。

現在、環境問題が社会的に重要視され、それに伴い分析の対象、手法、目的もまた多様化しました。騒音・振動のように物質の量以外のものでも重要な環境測定の対象となることを学びました。

有害とされる物質の数も増え、環境中に様々な形で存在しています。人に害を与える可能性がある以上、かなり低い濃度でも、精度良く測定しなければなりません。

良い測定をする、良い分析者となる為に、各分析項目について正しいサンプリング方法からデータ解析までの一連の分析方法・原理を理解することが重要であると思います。

また、分析によって得られた値を基に様々な判断がなされます。その判断の結果が人々の生活、健康に悪影響を与えるものであってはなりません。私たちにとって重要なことは、正しい判断をする為の精度の良い測定を提供することです。新任者が先ず心がけることは、自分の行う分析について責任を持つという自覚だと思います。

これから私たち新任者は今現在最も足らない「経験」を積み重ね、精度の良い分析に関する知識を蓄えていかなければなりません。新任者講習は、私たちにとって、強い責任感を持って仕事をしていく、決意の場となりました。

最後に、本講座を開いてくださった関係者及び講師の方々に心より感謝申し上げます。

活動レポート

8. 平成17年度　研修見学会

研修見学会を振り返って

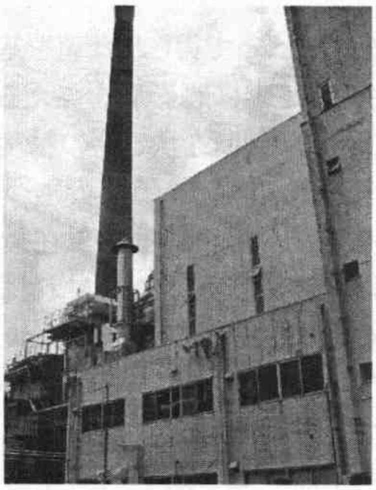
企画委員長

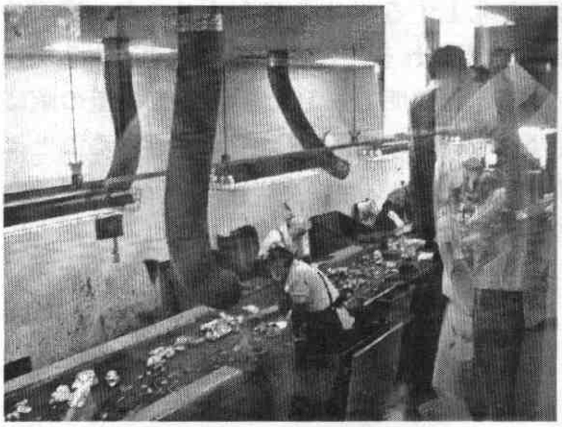
堀内　達雄

2005年の合同委員会の企画部会で、研修見学会は7月29日（金）に行われること、行先は最近の話題や交通事情を加味して、成田 → 銚子で昼食 → 波崎、鹿島方面というコースが決まりました。委員各自で見学スポットを拾い出し、調査結果を持ち寄った結果、見学コースとしては成田市リサイクルプラザ → 銚子魚市場ウォッセ21 → 波崎ウィンドファーム → 霞ヶ浦麻生西浜の水生植物回復事業現場という具体的な計画ができました。最終的な下見で、意外に移動時間を要すること、渋滞などの心配は少ないことなどを確認した上で、多少時間的に苦しいところは成り行きで判断するということで、資料を用意して当日を迎えました。

当日は月末であるため参加できない方も居られるのではないか、という懸念があったのですが、蓋を開けると20名（13社）の方のご参加を頂きました。天候にも恵まれたこともあって、田舎の空気を気持ちよく満喫する1日を過ごすことができました。いつもながら、バス会社との間でスケジュールを詰めていただいた永田さん（㈱環境管理センター）の手際に感心し、また、感謝する次第です。

今回の研修では、ごみを扱う現場を実際に見ることで自身の生活とその延長上にある社会が抱える大問題を身近なものとして考える端緒としてもらえればということで、成田市リサイクルプラザといずみ清掃工場を見学することが中心でした。この設備は典型的な地方自治体のごみ処理設備で、比較的長い歴史があり、人口3万人余の時代から10万人に届こうという現在まで、増加するごみの圧力に耐えながら市民生活の終末処理を行ってきたそうです。



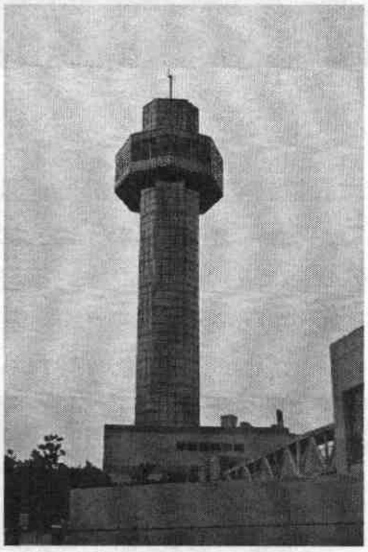


最近では設備の老朽化、設計処理量オーバーなどの問題から新焼却炉の建設が必要とされる状況で、無限に増えていくとさえ思われるごみを処理するのに新たに70億円以上の投資が必要になっているそうです。不経済な連鎖を断ち切り、健全な地球環境を保つためにごみゼロに近づける社会システムを急いで造る必要があると切に思った次第です。

見学を受け入れてくださいました松本課長さんはじめ現場案内をしてくださった皆さんにお礼を申し上げたいと思います。

懇親の昼食は銚子市ウォッセ 21 のシーフードレストランです。台風7号の直撃後だったので海鮮ものの入荷を心配しましたが、大きな金目鯛の姿煮が付いたテーブルは賑やかで、魚好きの私には感激でした。嗜好の異なる若い人達にはどんな印象であったかが気になりながらも会話ははずみました。

長めの休息を取った後の午後は、鹿島灘沿いを北上するバスのドライブです。波崎の２つの風力発電所を見学してエコ発電がこれから重視されること、神栖町を通過する際には最近になって地下水の有機ヒ素汚染があったことを説明しました。潮来町の道の駅に到着するころには 16 時を過ぎ、相談の結果、麻生西浜には行かないで帰路をとることにしました。車中で生態系の回復を図る市民運動［アサザプロジェクト］の説明をさせて頂き、快適な高速道路を一路千葉を目指して見覚えのある千葉駅前に滑りこみました。



無事に今年度の会を終了できたことに対して、参加して下さった方々、お手伝いを頂いた方々に主催者側を代表いたしまして感謝致します。また、至らなかったところ、こうしたらと言ったご意見をお寄せいただき、来年度の会をより良いものにできたら、これに過ぎた喜びはありません。よろしくお願い致します。

平成17年度　**研修見学会**参加者名簿

	会　員　名	参 加 者
1	イカリ消毒㈱	太鼓地 洋昭
		柳田　和則
2	㈱環境管理センター	吉本　優
		永田　耕一
3	キッコーマン㈱	堀内　達雄
		大貫　直子
		濱野　哲夫
4	㈱コスモス　千葉支店	斉藤　憲昭
		相場　久美子
5	習和産業㈱	津上　昌平
6	㈱新日化環境エンジニアリング	吉田　毅
		飯塚　良一
		菅沼　玲希
7	㈱住化分析センター	菅沼　一也
8	住友大坂セメント㈱	坂井　小百合
9	㈱ダイワ	菅谷　光夫
10	中外テクノス㈱	藤谷　光男
11	東電環境エンジニアリング㈱	川西　国和
12	㈱東海地質	初瀬川 ひろ美
13	㈱ユーベック	田中　裕美

平成１７年度研修見学会レポート

平成 17 年 7 月 29 日

株式会社　コスモス

斉藤憲昭・磯貝純美

成田市リサイクルプラザへ見学に行きました。

～現在問題になっているゴミ問題について～

平成 13 年度の廃棄物処理事業経費は、２兆 9,464 円の出費となり、４人家族の場合は年間で約 82,000 円もゴミ処分の費用として税金から支払っていることになります。

ゴミの焼却場の設置場所がないのも深刻な問題の一つです。

焼却場が少ない原因としては、

1．ゴミを収集することによる悪臭、人体に影響のある物質の発生
2．ゴミを燃やすことによるダイオキシン類などの人体に影響のある物質の発生
3．ゴミを燃やすことによる人体に悪影響のある煙の発生

などの周辺住民への影響が考えられています。

成田リサイクルプラザについて…

現在の保有のゴミ収集車は 126 台になります。

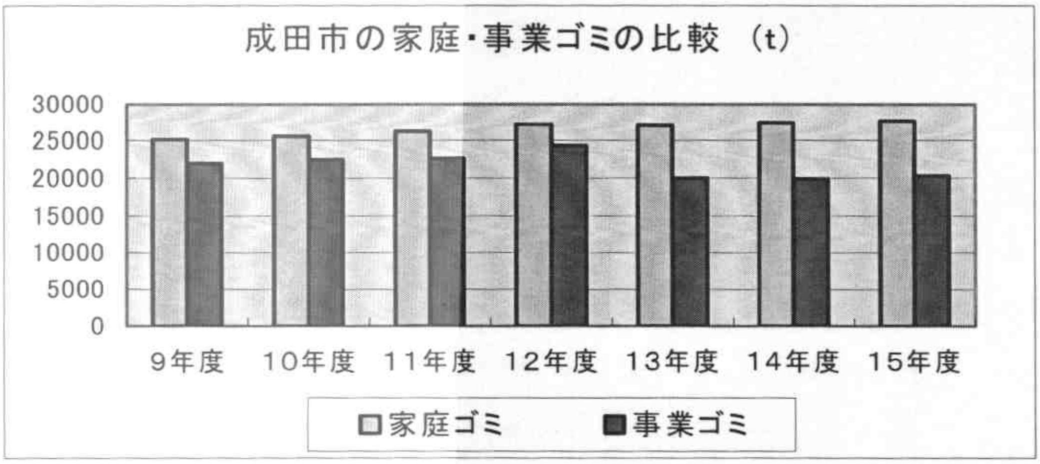
一日に稼動する車の台数は 70～75 台で大体 3 往復します。

一日に搬入されるゴミの量は、約 230 t になります。

一年に搬入されるゴミの量は、約 43500 t になります。

下記のグラフは、成田リサイクルプラザにて収集してきた家庭と事業のゴミの比較です。

グラフを見ると、事業ゴミの数が年々減少はしているのが目立ちますが、まだ一般の家庭ゴミが増加傾向に見られます。成田市では年々人口は増加しているもののひとりひとりがリサイクルを心がけてゴミの分別や、生ゴミの再生などを簡単なところから始めれば減少につながると思いました。



メインとなる施設が３つあり、それぞれ分担をして効率的なリサイクル事業に取り組んでいます。

１．要品再生施設棟

ゴミとして出されたものを再生修理する再生室をはじめ、再製品を展示するホール、学習研修室、情報コーナーなどが設けられています。

2.粗大ゴミ処理施設棟

不燃性のさまざまなゴミを受け入れて、資源として取り出す最新鋭の施設です。
ここでは、２つのゴミ処理の工程が行われています。下記図参照。

・ 缶やビンをリサイクルすることで、資源とエネルギーの節約を図ります。この写真では、スチール・アルミ缶ビンなどの分別をしています。

・粗大ゴミを分別処理する技術で、資源を効率的に回収します。

３．貯留棟

鉄・アルミの圧縮物などの資源物や有害物を一時保管する他、リサイクル資源として再利用できるプラスチック製品のうち、専用の再処理工場へ搬出します。
ペットボトルを「ペットボトル減容機」で圧縮し一時保管した後、専用の再処理工場へ搬出します。

今回の研修に参加して・・・

今回、研修に参加させていただきました【成田市リサイクルプラザ】は、成田市を中心とした近郊の町村を含めたゴミ処理場ですが、1市町村だけでもこれほどのゴミが回収され処理に追い付かない状況の中、今現在の日本人口が増え続けている中、私達への以下のような仮題があげられます。

1. リサイクルを心掛けるのではなく実施する
2. 無駄なゴミを作らない・増やさない
3. 各自の環境意識レベルを高める
4. 物はゴミではなく資源であることへの再認識
5. リサイクル品への抵抗感をなくす
6. 〃思う〃のではなく〃やる〃への行動力

一般の家庭ゴミでもまだまだリサイクルができるものがあります。
リサイクル品は世の中に沢山ありますが、みなさんはリサイクル品がどのような形に生まれ変わるかご存知でしょうか…。
今後は、今現在よりもゴミ問題は大きな課題になります。

ひとりひとりが、ゴミ問題を理解し分別や再利用などを心がけ、環境に配慮し10年・20年後先もより良い自然環境になり続けるように頑張りたいです。

9.寄　稿

『タイ国雑感』

セイコーインスツルメンツ株式会社
千環協顧問　名取　昭平

１．はじめに

千環協会員の皆様、ご無沙汰いたしております。２００２年３月に千環協より離れまして、はや3年となりました。仕事は、本社へ戻りまして、環境とは関係のない生産技術関係の業務を担当してますが、分析技術（機器分析）を使ってという点では、以前の業務と関わりのある仕事といえます。

そこで、昨年３月から、本年の２月まで、ほぼ１年間、タイへ出張してましたので、業務内容 は社外秘ですので、また、環境問題と直接関係のない話で恐縮ですが、滞在期間で見聞きした雑感を寄稿させていただきます。

２．通勤事情

当社のﾀｲ工場は、SIT（Seiko Instruments（Thailand）Ltd.）と称しまして、バンコクから約６０Kmほど離れたナワナコンという工業団地内にあります。

設立当社は時計関係の部品を作ってましたが、今では時計製造はなく、ハードディスク（ＨＤＤ）関係の部品を製造してます。

宿泊はバンコク市内のホテルにとり、毎日ワゴン車で、1時間かけて通勤していました。帰りが、バンコク名物の渋滞（トラフィックジャムと称します）に巻き込まれ、2 時間近くかかることもありました。時折バタッと止まることがあり、VIP が空港から帰るときなど一時道路を通行止にしてしまうためで、あまり気の短い人には無理ですが、気長に待つことが必要です。

ワゴン車は、会社手配の請負に出しており、タクシーと同様にすっ飛ばすので、なれるまで、怖くて眼を開けていられないです。（車間距離など保ってません。事故の時は一連托生）郊外の国道には、交差点が少なく、反対車線に出たい時は、Ｕターン専用の高架が作ってあり、そこまで行って反対車線に入り、また元のところに戻るという、何だかこれ効率的なのかな？と、疑問でした。

渋滞で車同士の事故が多いかと思いましたが、意外と少なく、ドライバー同士の暗黙の了解で、微妙に譲り合っているようです。また割り込みが結構あり、日本とか中国ではビービーと鳴らすところですが、タイでは鳴らさず、運転手がかなり穏やか（寛容）のようです。 ただバイクタクシーとの事故は何回も目にしました。幸い、当事者となったことは

ありませんでした。バイクタクシーとは、単車のことで、一人だけでなく二人乗せて走っているものもあり、タイは何でもアリのところだと思いました。

工業団地内にもホテルはありますが、休日の時の不便さや、食事事情が良くないので、どこの会社も同じように、バンコク市内のホテルから通っているようで、一斉にワゴン車が郊外を目指します。 で、私、腰痛気味なので、この長時間通勤がつらかったです。

鉄道が整備されていないので、車しかなく、現地の従業員は、派手なペイントをした会社手配のバスで分乗してきます。朝、夕は、このバスと、ワゴン車と、マイカーで工業団地の入り口が大渋滞となります。

3．宿泊・食事事情

バンコクは、スクンビット通りというところのホテルで、このスクンビットは、日本人街と言われるくらい、日本人出張者が多く滞在してました。したがって日本人向けの居酒屋がいっぱいあります。日本語のメニューで、刺身から何でもありまして、食に苦労することはありません。

１０年ほど前にバンコクへ行きましたが、その当時は居酒屋等なく、タイ料理のみで、苦労したことから比べると格段の違いでした。

物価は大変安く、日本料理でも、お酒飲んで食べて５００バーツ（１，５００円）くらいで、タイ料理ですともっと安く、３００バーツ（９００円）くらいで、済んでしまいます。その他、中華料理、イタリヤ料理、インド料理、ドイツ料理など、安くおいしく食べられます。ちなみに、一番高いのがイタリヤ料理で、ついで日本料理、一番安いのは、タイ料理といったところです。

さらに夕刻、道路のいたるところに出店してくる屋台では、１０バーツといった値段で安く食べられますが、ローカルの人以外は無理です。ローカルの人は、危ない（下痢など）屋台と、安全な屋台とを見分けることが出来るそうです。

私は辛いものがダメで、また「パクチー」と称する香草が何にでも入ってきますので、これが食べられず、タイ料理は苦手でした。が、それでも、現地の人に案内してもらうと、結構おいしく食べられるものがあることがわかりまして、後半は、結構タイ料理を食べました。でも一週間のうち３～４日は居酒屋で、あとの日を、タイとかイタリヤとか中華といった具合でした。

水道水は飲めません。ミネラルウォーターをコンビニ（セブンイレブンが結構あります）で買って歯磨き、飲用にします。ホテル、レストランで食事の時に出される水や氷は、大丈夫です。昔は氷から下痢したといわれてましたが、今はミネラルウォーターで作っており安心です。

４．バンコク市内

道路を渡るのが大変で、渋滞で車が止まっていれば別ですが、通常はビンビン飛ばしているので、信号のある交差点でもタイミングが難しくて怖く、現地人が来るまで待って、一緒にわたりました。日本のように横断歩道の手前で車が事前に止まってくれることはありません。また、歩道はあるのですが、デコボコで、電話ボックスで歩道がふさがれていたりと、日本のように整備されてません。（年配者にやさしくない都市です）

交通手段は、BTS（スカイトレイン：モノレールです）と、昨年夏に開通した地下鉄を主に使ってました。地下鉄は、大きな事故を起こして有名になりましたが。タクシーはあまり使いません。というのも、英語が通じず（当方もあまりしゃべれませんが）、また、日本人と見ると吹っかけてくるので利用しませんでした。メーターがついているのに価格交渉してきます。「メーター、メーター」といって拒否すると、不機嫌そうに発車します。また、タイではタクシーの方で乗車拒否をすることが出来るようで、結構、行き先を言って拒否された ことともあり、タクシー嫌いになりました。

５．会社で

タイでは女性が大変活躍されており、管理職も女性が多いということで、社内会議でも出席者は圧倒的に女性が多く、ちょっと戸惑いました。日本で会議というと、男性ばかりに慣れてましたので、女性ばかりで、何だか最初は慣れるまで、変な感じでした。

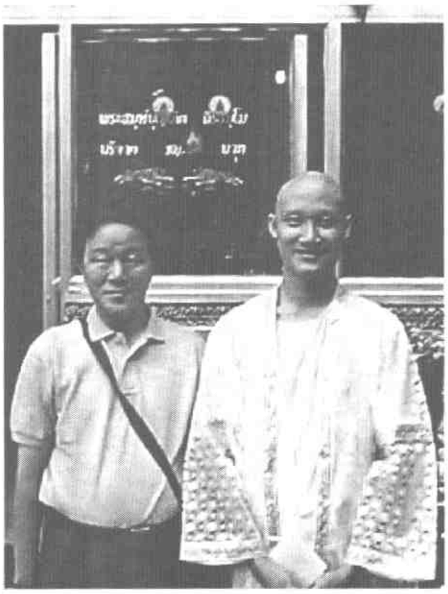
外気が30度を超えるひどい暑さですが、室内は逆に猛烈にクーラーを効かせており、上着着用でないと寒くて座っていられないのですが、ローカルの人は、半袖のままで平気で、いったい体がどうなっているのか？と思いました。（ちなみに、クーラーを効かすのがサービスだそうです）現地のエンジニアは英語が話せますが、ラインの人は、タイ語のみで話が全く通じません。ラインの人とは、ただお互い笑ってごまかすだけです。

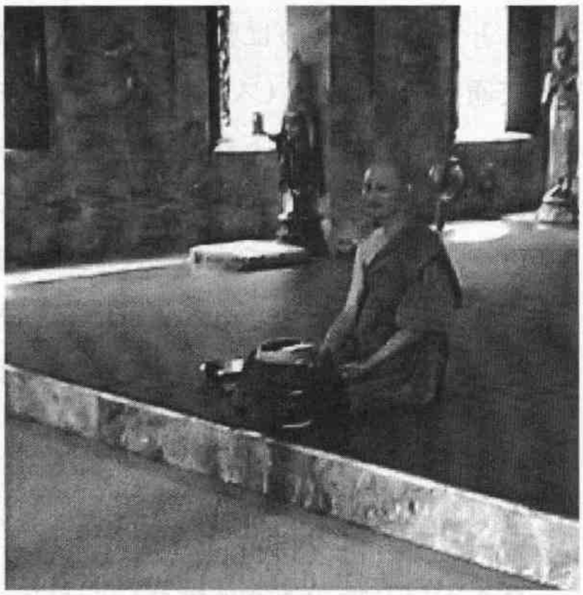
６．ちょっとかわった儀式

仕事の関係で一緒にやってました現地ローカルのエンジニアの男性（22歳くらい）から、昨年１０月頃に、突然招待状をいただきました。それは、３ケ月間の坊さん修行 にはいるので、その最初の儀式への招待状でした。この儀式はマンク（Monk：修道士の意味だそうです）といい、会社を３ケ月間もあけて寺にこもるのだそうで、せっかく仕事が順調にいっていたのに、３ケ月も休むということで、ちょっとあきれました。

実はこの男性、結婚したい女性がいまして、その女性の親から、マンクも済ませて いない男には嫁にやれないといわれたそうで、それで修行とのことでした。寺にこもるといわれてましたが、実際は通いだそうで、何だー！てな感じでした。

写真（左）はその時のもので、頭にソリを入れて、格好は、修道士そのものでした。なお、写真（左）の着衣は白で派手なものですが、儀式終了後には、黄褐色のいわゆる僧侶姿（写真右）に着替えさせられていました。





7．タイのベストシーズン

タイへこれから行こうと思っておられる方は、お勧めは、12月～1月までの季節がベストです。私は3月から出張してまして、年中クソ暑いところだと思っていましたが、12月に入ってからは、半袖でも寒いくらいになるので、こんな涼しい季節もあるのだと、ビックリしました。

皆さん良く知っているおられるようで、日本からの旅行客も急に増え、この期間は平日でも日本発の飛行機が満席になります。

8．観光先

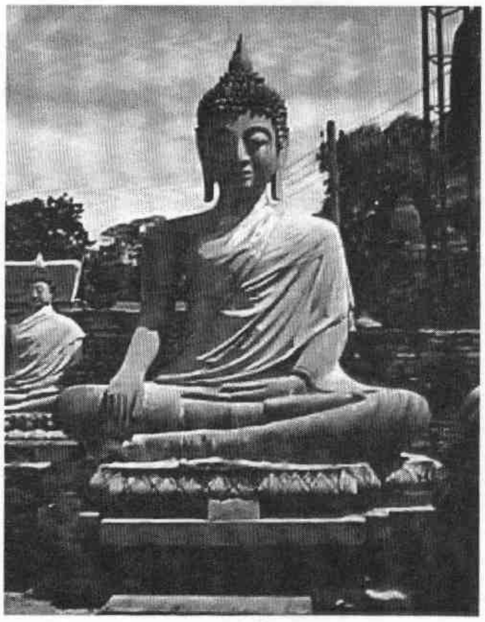
寺院が好きな方にはタイは最高で、たくさんの寺院があり行くところが一杯あります。興味のない当方にとっては、観光といっても困りましたが、市内観光、アユタヤ、チャオプラヤ川のディナークルーズくらいのもので、カンチャナブリ（戦場に架ける橋）は行きましたが、期待はずれの規模の橋で、あまり面白くありませんでした。ディナークルーズは良かったです。これはお勧め。

休日、暇つぶしに映画に行きましたが、英語で、タイ語の字幕で、ストーリーが良くわからず残念でした。ハリーポッター、デイアフタートモローなどみました。（安く、１２０

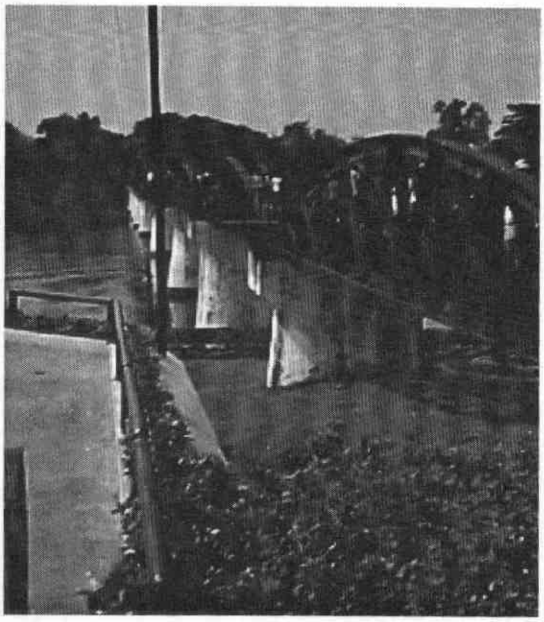
バーツ（３６０円）でした）

映画が始まる前は、国王が映し出される場面があり、敬意を表さなければいけません。最初は何で起立するのか？わからず、戸惑いましたが、立ってよかったです。警官が見張っている場合があり、逮捕されるそうで、実際、某社の赴任者が連行されて、上司が引きとりにいったとのことです。

［アユタヤにて］



［カンチャナブリー・戦場に架ける橋］



９．治安

タイに行きたての頃は、警戒してましたが、治安は良くて、真夜中に出歩かなければ安全です。昨年ﾀｲから４日間ほど中国（シンセン、ドンガン）へ行きましたが、中国滞在中は、大変緊張しまして、タイへ戻ってホットした感じが忘られません。

１０．ことば

タイ語は全くわかりません。若いうちでないと覚えも悪く、右から左へ抜けてしまいました。サワディーカップ（挨拶、おはよう、こんにちは、こんばんは全てこれ１本。）、コップンカップ（ありがとう）くらいで、あと、会社のキャンティーンでの昼食の必要性から、「カウパット（チャーハンみたいな焼き飯）」「ママーパット（焼きそば）」で、「マイサイパクチー（香草をいれないで）」を必ず添えて、注文です。

サワディーカップを、「さわっていいカップ」といっても通じました。またビールにクロスターという地ビールがありまして、これも「苦労したー」といって注文しても通じましたので、笑い。

１１．おわりに

ということで、環境問題には触れず（というよりも触れられない）に終わりとなりました。会員皆々様の益々のご発展を祈念いたしまして、さようなら。

以上

『安定した受注をめざして、別の視点から』

株式会社環境技術研究所
千葉事業所長　青柳幹夫

近年、地球規模および地域の環境保全、安全性に関する関心の高まりから、環境に関する諸問題への取り組みが官民問わず、計画、実施されております。

この分野での調査、測定、分析業務として環境計量のスペシャリストである我々の業界、会社に発注される機会は多くなります。

しかし、官公庁の発注においては、人件費、分析単価を主体に積算の見直し、入札や見積りにおける競争激化などによって、受注価格の下落傾向が続いております。

また、受託者である我々は、信頼性確保の観点から、品質 ISO などの取得、遵守に取り組む場合が多く、これらがコスト高に繋がり益々利益が希薄となるのが実態であります。

今後、我々の業界、会社、事業所がそれぞれ発展、継続するためには、会社の特長を前面にして、棲み分け、差別化が重要と考えます。

当社では道路環境を主体に、大気、騒音の予測業務に積極的に取り組み、数々の受注実績を上げております。この分野では、最近、国の研究機関を中心に発注形態に一部変化もみられます。発注者が技術提案を募り、コンペ方式により受託者を選定するものです。

受託者は、提案内容に沿って計画、実施するもので、殆んどが人件費主体の技術業務であります。しかもスケジュールにある程度自由度があり、利益率も測定業務に比べると高くなる傾向にあります。

今後、環境問題が複雑化する中で地方自治体からの発注においても、従来の競争入札のほかに、環境創設、汚染予防の観点から技術提案型の発注業務が増えてくるものと考えます。

我々の業界でも自社の特長を生かして、互いに切磋琢磨してこの技術提案型の業務に積極的に取り組むことが重要と考えます。

当社では定期的に企画委員会を開催して、調査分析手法や環境予測業務に関する技術検討会を実施して、受託業務に結び付けておりますので、その技術的内容について若干紹介いたします。

1. 調査分析における取り組み

大気中浮遊粒子状物質の健康影響が懸念されていりますが、当社では SPM と同時に、環境省の暫定マニュアルに基づく PM2.5（粒子径 2.5μm以下の微小粒子状物質）もTEOM測定装置によって連続測定を行い、大気中の微小粒子の挙動を解明に努めております。

室内のニオイや化学汚染物質の実態把握には携帯型のセンサーが効果的に活用できます。

ビル内や居住空間のニオイの強さや頻度・パターンの把握にはニオイセンサーが効果的であり、この結果の解析によって防臭対策に繋がる場合があります。また、ホルムアルデヒドなどの化学物質の発生源推定には、VOC モニターでリアルタイムに確認でき、シックハウス対策に効果的であります。

最近、空気浄化性能を有する光触媒材料が種々開発され、大気環境改善、防汚、抗菌等に効果のある材料として注目されております。

これらの材料の性能評価方法として、『光触媒材料の空気浄化性能試験方法（JIS- R-1701）』がありますが、当社はいち早く試験装置を導入して、種々材料の室内試験や野外暴露試験を受託しております。

ルーチン分析に関しては、前処理操作の自動化や工程管理、保管方法の工夫などにより可能な限り多数試料の同時分析を実施して、コスト低減に結び付けております。

2. 環境予測業務における取り組み

大気中の浮遊粉じんは複数成分より構成され、その発生源は様々であります。大気中で捕集した粉じんについて発生源固有の元素を分析することによって、種々発生源の寄与率を推定することができます。その一つの手法がCMB法(Chemical Mass Balance Method)であります。これは発生源の粉じん組成比と大気中組成比を用いた連立方程式を解くことによって発生源の寄与率を算出するものであり、この結果によって粉じん抑制対策の情報を提供することができます。

道路等からの大気拡散予測には目的に応じて、『道路環境影響評価の技術手法』に基づく高度な手法を用いて評価、解析を行い、信頼性の高い予測結果を提供しています。また、数値解析手法を用いた大気拡散シミュレーションを行い、複雑地形、構造下での大気拡散現象の把握に努めております。

道路交通騒音の予測には、数値解析、現地実験、模型実験等がありますが、日本音響学会提案の ASJ Model など、適正な手法を選定して信頼性の高い予測結果を提供しており、道路管理者の対策検討に役立てております。なお、これらの調査分析手法、環境予測手法については、当社のHP（www.etlabo.co.jp）に掲載しております。

『FT/IRバリデーション』

イカリ消毒株式会社
太鼓地　洋昭

会員各社の中には、廃棄物の油分検定でFT/IRを使用されているところもあるかと思います。既に、各社ごとの手順に従ってバリデーションを行われていることと思いますが、まだ手順を決めかねている事業所様がおありでしたら、参考にしてみてはいかがでしょうか？

当会会員の皆様にはあまり馴染みがないかとは思いますが、平成14年12月27日に公布された第十四改正日本薬局方第一追補では，下のように「分解」と「波数精度」が改正されました。特に波数精度では，誤解の多かったカッコ内の数値の定義が明確になりました。

日本薬局方の改正点

	第十四改正日本薬局方	第十四改正日本薬局方 第一追補
分解	得られた吸収スペクトルの2870cm-1付近の極小と、2851cm-1付近の極大における透過率(%)の差が、18%以上であること、および、1589cm-1付近の極小と1583cm-1付近の極大における透過率(%)の差が10%以上であること。	得られた吸収スペクトルの2870cm-1付近の極小と、2850cm-1付近の極大における透過率(%)の差が、18%以上であること、および、1589cm-1付近の極小と1583cm-1付近の極大における透過率(%)の差が12%以上であること。
波数精度	波数目盛りは、通例、ポリスチレン膜の下記の吸収帯のうち、いくつかを用いて補正する。なお、括弧内の数値は、これらの値が定められたときの正確さを表す。 **3027.1(±0.3)　1583.1(±0.3)** **2924(±2)　1181.4(±0.3)** **2850.7(±0.3)　1154.3(±0.3)** **1944(±0.3)　1069.1(±0.3)** **1871.0(±0.3)　1028.0(±0.3)** **1801.6(±0.3)　906.7(±0.3)** **1601.4(±0.3)　698.9(±0.3)**	波数目盛りは、通例、ポリスチレン膜の下記の特性吸収波数(cm-1)のうち、いくつかを用いて補正する。なお、()内の数値は、これらの値の許容範囲を示す。 **3060.0 (±1.5)cm-1** **2849.5 (±1.5)cm-1** **1942.9 (±1.5)cm-1** **1601.2 (±1.0)cm-1** **1583.0 (±1.0)cm-1** **1154.5 (±1.0)cm-1** **1028.3 (±1.0)cm-1**

10.会　員　名　簿

会員名	所在地	担当者	事業区分 濃度 大気	水質	土壌	特・計	音圧	振動・加速度	備考
アエスト環境(株) 代表取締役　三澤　剛	〒270-2221 松戸市紙敷1丁目30番の2 Tel 047-389-6111 Fax 047-389-3366	鈴木まり子	○	○	○				
旭硝子(株) 千葉工場 工場長　齋藤　一彦	〒290-8566 市原市五井海岸10番地 Tel 0436-23-3150 Fax 0436-23-3187	環境安全保安室 渋谷　英世 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) hideyo-sibuya@agc.co.jp	○	○	○				産
(株)飯塚 環境技術研究所 代表取締役　飯塚　貴之 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.plaza15.mbn.or.jp/~izk777/	〒270-2221 松戸市紙敷599番地 Tel 047-391-1156 Fax 047-391-0110	中尾　潤一 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) k.IZK777@dream.com	○	○	○		○	○	産・上 悪・試 環
イカリ消毒(株) 技術研究所 代表取締役社長　黒澤　聰樹 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.ikari.co.jp/	〒275-0024 習志野市茜浜1-5-10 Tel 047-452-6718 Fax 047-452-6720	太鼓地洋昭 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) h-taikoji@ikari.co.jp	○	○	○				産・上 試・環
出光興産(株) 中央研究所 所長　久米　和男 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://homepage2.nifty.com/idetec/	〒299-0205 袖ケ浦市上泉1280 Tel 0438-75-2314 Fax 0438-75-7213	柴﨑　明 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) akira.shibazaki@si.idemitsu.co.jp	○	○	○				試
荏原ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞｻｰﾋﾞｽ(株) 薬品技術第一部 部長　横田　則夫 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.ees.ebara.com	〒299-0267 袖ケ浦市中袖35 Tel 0438-63-8700 Fax 0438-60-1171	主任 佐藤　克昭 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) sato.katsuaki@ebara.com		○	○				産・悪 上・試
(株)上総環境調査センター 代表取締役　浜田　康雄 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.kazusakankyo.co.jp	〒292-0834 木更津市潮見4丁目16番2号 Tel 0438-36-5001 Fax 0438-36-5073	業務部次長 中山　徹 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) gyoumu@kazusakankyo.co.jp	○	○	○	○	○	○	産・上 悪・作 環
環境エンジニアリング(株) 取締役事業部長　浅川　武敏 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.k-eng.co.jp	〒292-0825 木更津市畑沢1-1-51 環境ﾃｸﾉｾﾝﾀｰ Tel 0438-36-5911 Fax 0438-36-5914	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ 川崎　孝則 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) t kawasaki@k-eng.co.jp	○	○	○	○	○	○	産 悪・試 環・作
(株)環境管理センター 東関東支社 執行役員支社長　保坂　顕紀 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.kankyo-kanri.co.jp/	〒260-0833 千葉市中央区稲荷町3-4-17 Tel 043-261-1100 Fax 043-265-2412	副支社長 吉本　優 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) myoshimoto@kankyo-kanri.co.jp	○	○	○	※	○	○	産・上 悪・試 環・作 理事(広報)

注）特・計：特定計量証明事業　※：県外事業所登録
　　産：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発

※会員名簿は、一部個人情報を含むものですが、事前に会員各社における担当個人情報取り扱いの了解のもと掲載しております。

10. 会　員　名　簿

会　員　名	連絡場所	連絡担当者	事業区分 濃度 大気	水質	土壌	特・計	音圧	振動・加速度	備　考
(株)環境技術研究所 千葉事業所 所　長　青柳　幹夫 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.etlabo.co.jp	〒299-0266 袖ヶ浦市北袖11番地1 Tel　0438-64-0677 Fax　0438-64-0787	青柳　幹夫 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) aoyagi.mikio@etlabo.co.jp	○	○	○				
(株)環境コントロールセンター 代表取締役社長　松尾　博之 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.e-c-c.co.jp/	〒260-0805 千葉市中央区宮崎町231-14 Tel　043-265-2261 Fax　043-261-0402	環境部 原田　和幸 kharada@e-c-c.co.jp 永友　康浩 ynagatomo@e-c-c.co.jp	○	○					産・上
(株)環境測定センター 代表取締役社長　小野　博利	〒262-0023 千葉市花見川区検見川町 3-316-25 Tel　043-274-1031 Fax　043-274-1032	鈴木　健一	○	○	○				
基礎地盤コンサルタンツ(株) 代表取締役社長　森　研二 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.kiso.co.jp	〒263-0001 千葉市稲毛区長沼原町　51 Tel　043-298-6310 Fax　043-250-5129	野田　典広 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) noda.norihiro@kiso.co.jp		○	○				産・環 試
キッコーマン(株) 分析センター 分析センター長　堀内　達雄 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.kikkoman.co.jp	〒278-0037 野田市野田350 Tel　04-7123-5063 Fax　04-7123-5904	飯島　公勇 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) kiijima@mail.kikkoman.co.jp	○	○	○		○	○	産・上 悪 **理事(企画)**
(有)君津清掃設備工業 濃度計量証明事業所 取締役社長　松尾　昭憲	〒299-0236 袖ケ浦市横田3954 Tel　0438-75-3194 Fax　0438-75-7029	嘉数　良規		○					上
クリタ分析センター(株) 千葉県環境分析センター 総務部長　吉原　勝治	〒299-0266 袖ケ浦市北袖1番地 Tel　0438-62-5494 Fax　0438-62-5494	白須　研一	※	○	○		※	※	産・上 悪・試 環・作
京葉ガス(株) 技術研修センター 部　長　星野　光省	〒272-0033 市川市市川南2-8-8 Tel　047-325-4500 Fax　047-323-0692	技術研修センター 永塚　孝幸 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) t-nagatsuka@keiyogas.co.jp		○	○				試
(株)ケーオーエンジニアリング 代表取締役社長　小栗　勝	〒277-0827 我孫子市白山2-7-19 Tel　04-7133-0142 Fax　04-7133-0131	小栗　勝 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) koe@bb.wakwak.com	○	○			○	○	

注）特・計：特定計量証明事業　※：県外事業所登録
産：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発

※会員名簿は、一部個人情報を含むものですが、事前に会員各社における担当個人情報取り扱いの了解のもと掲載しております。

10. 会　員　名　簿

会　員　名	連絡場所	連絡担当者	事業区分 濃度 大気	水質	土壌	特・計	音圧	振動・加速度	備　考
(株) ケ ミ コ ー ト 代表取締役社長　中川　完司 (ホームページアドレス) http://www.chemicoat.co.jp	〒279-0002 浦安市北栄4-15-10 Tel　047-352-1137 Fax　047-352-2615	研究開発品質保証部 代田　和宏 (E.メールアドレス) k-sirota@chemicoat.co.jp		○					
(株)建設技術研究所 東京支店　水圏技術部 部　長　　齋藤　廣	〒277-0843 柏市明原1-2-6 Tel　04-7144-3106 Fax　04-7144-3107	主任技師 平田　治		○	○				環・試
公害計器サービス(株) 代表取締役社長　佐藤　政敏	〒290-0042 市原市出津7-8 Tel　0436-21-4871 Fax　0436-22-1617	井上　茂樹 (E.メールアドレス) kougaikaiki@msb.biglobe.ne.jp	○	○	○				
合同資源産業(株) 千葉事業所 千葉事業所長　　遠藤　宣 (ホームページアドレス) http://www.godoshigen.co.jp/	〒299-4333 長生郡長生村七井土1365 Tel　0475-32-1111 Fax　0475-32-1115	品質管理課 大谷　康彦 (E.メールアドレス) y.ootani@godoshigen.co.jp	○	○	○				
(株)三造試験センター 東部事業所 取締役所長　　福壽　芳治	〒290-8601 市原市八幡海岸通1 Tel　0436-43-8931 Fax　0436-41-1256	金田　正男	○	○	○	○			産・上 試・作
(株)CTIサイエンスシステム 開発事業部長 代表取締役社長　斉藤　秀晴 (ホームページアドレス) http://www.homepage2.nifty.com/ctis-mizu/	〒277-0843 柏市明原1-2-6 Tel　04-7147-4830 Fax　04-7147-4891	渡辺　麻子 (E.メールアドレス) watanabe-ctis@rock.email.ne.jp		○	○				試
JFEテクノリサーチ(株) 分析・評価事業部 常務取締役 千葉事業所長　　森戸　延行 (ホームページアドレス) http://www.ktec.co.jp	〒260-0835 千葉市中央区川崎町1 Tel　043-262-4178 Fax　043-268-5495	営業企画部 岡野　隆志 (E.メールアドレス) okano@ktec.co.jp	○	○	○	○	○	○	産・環 作・試 (監事) 福田文二郎
(株) ジ オ ソ フ ト 代表取締役社長　鈴木　民夫	〒261-0012 千葉市美浜区磯辺1-2-11 Tel　043-270-1261 Fax　043-270-1815	代表取締役社長 鈴木　民夫 (E.メールアドレス) geosoft@mti.biglobe.ne.jp					○	○	環・試
習 和 産 業 (株) 取締役社長　　赤星　良治 (ホームページアドレス) http://www.e-shuwa.jp	〒275-0001 習志野市東習志野7-1-1 Tel　047-477-5300 Fax　047-477-5324	環境管理センター 主幹技師 津上 昌平 (E.メールアドレス) tsugami-syohei@hitachi-ies.co.jp	○	○	○		○	○	産・上 悪・試 環・作 理事(会長)

注）特・計：特定計量証明事業　※：県外事業所登録
　　座：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発

※会員名簿は、一部個人情報を含むものですが、事前に会員各社における担当個人情報取り扱いの了解のもと掲載しております。

10. 会 員 名 簿

会 員 名	連 絡 場 所	連絡担当者	事業区分 濃度 大気	水質	土壌	特・計	音圧	振動・加速度	備 考
昭 和 電 工 (株) 千葉事業所 所 長 関 實	〒290-0067 市原市八幡海岸通 3 Tel 0436-41-5111 Fax 0436-41-3972	宮下 良宣 (E. ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) Yoshinobu-Miyashita@sdk.co.jp	○	○	○				産
(株)新日化環境ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ 君津事業所 所長 梶原 良史 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.e-ske.co.jp/	〒292-0836 木更津市新港15-1 Tel 0438-37-5872 Fax 0438-37-5867	所長 内野 洋之 (E. ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) h-uchino.ske@nscc.co.jp	○	○	○	※	※	※	産・上 悪・試 環・作 理事（副会長）
(株) 杉 田 製 線 市川工場 代表取締役社長 杉田 光一 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.sugitawire.co.jp/	〒272-0002 市川市二俣新町17 Tel 047-327-4517 Fax 047-328-6260	化成品ｸﾞﾙｰﾌﾟ 木村 成夫 (E. ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) s-kimura@sugitawire.co.jp		○	○				産
(株)住化分析センター 千葉事業所 取締役所長 竹田 菊男 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.scas.co.jp	〒299-0266 袖ケ浦市北袖2-1 Tel 0438-64-2281 Fax 0438-64-5089	廣野 耕一 小松原 淳一 保坂 典男 (E. ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) hchiba@scas.co.jp	○	○	○	※	※	※	産・上 悪・試 環・作 理事（技術）
住鉱ﾃｸﾉﾘｻｰﾁ(株) 東京事業所 所 長 佐々木 公司 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.sumikou-techno.jp/	〒272-0835 市川市中国分3-18-5 Tel 047-372-1110 Fax 047-371-3405	橋本 昭洋 (E. ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) Akihiro_Hashimoto@ni.smm.co.jp	○	○	○	※	※	※	産・悪 環・作 上・試
住友大阪セメント(株) セメントコンクリート研究所 環境技術ｾﾝﾀｰ 所 長 小林 茂広 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.soc.co.jp	〒274-8601 船橋市豊富町585 Tel 047-457-0185 Fax 047-457-7871	小林 茂広		○	○		○		産・上 試
住友金属鉱山(株) 市川研究所 所 長 町田 克己 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.smm.co.jp	〒272-8588 市川市中国分3-18-5 Tel 047-374-1191 Fax 047-375-0284	渡辺 勝明 (E. ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) katsuaki_watanabe@ni.smm.co.jp		○	○				試
セイコーアイ・テクノリサーチ (株) 代表取締役社長 安田 和久 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.sii.co.jp/sitr/	〒270-2222 松戸市高塚新田563 Tel 047-391-2298 Fax 047-392-3238	荒木 徹 (E. ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) sitr@sii.co.jp	○	○	○				産・上 作・試
(株)総合環境分析研究所 代表取締役 高野 俊之	〒271-0067 松戸市樋野口616 Tel 047-363-4985 Fax 047-363-4985	代表取締役 高野 俊之	○	○	○				

注） 特・計：特定計量証明事業 ※：県外事業所登録
産：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発

※会員名簿は、一部個人情報を含むものですが、事前に会員各社における担当個人情報取り扱いの了解のもと掲載しております。

10. 会　員　名　簿

会員名	連絡場所	連絡担当者	事業区分 濃度 大気	水質	土壌	特・計	音圧	振動・加速度	備考
(株)太平洋コンサルタント 取締役研究センター長 丸田 俊久 (ホームページアドレス) http://www.taiheiyo-cement.co.jp/thc/	〒285-8655 佐倉市大作2-4-2 Tel 043-498-3912 Fax 043-498-3919	小野 博史 (E.メールアドレス) Hiroshi-Ono@grp.taiheiyo-cement.co.jp	○	○	○	○			産・悪 環・試
(株) ダ イ ワ 千葉支店 取締役支店長 菅谷 光夫 (ホームページアドレス) http://www.daiwa-eco.com	〒283-0062 東金市家徳238-3 Tel 0475-58-5221 Fax 0475-58-5415	営業課 宮澤 康弘 (E.メールアドレス) daiwa-ch@juno.ocn.ne.jp	○	○	○	※	※	※	産・上 悪・試 環・作 理事（副会長）
妙 中 鉱 業 (株) 総合分析センター 代表取締役社長 妙中 寛治 (ホームページアドレス) http://www.taenaka.co.jp/	〒297-0033 茂原市大芝452 Tel 0475-24-0140 Fax 0475-23-6405	室長 金井 弘和 (E.メールアドレス) kanai@taenaka.co.jp	○	○	○				
(財)千葉県環境技術センター 理事長 木内 政成	〒290-8503 市原市五井南海岸3 Tel 0436-23-2618 Fax 0436-23-2619	森尻 博 (E.メールアドレス) hiroshi-morijiri@chemiway.co.jp		○	○				産
中 外 テ ク ノ ス (株) 関東環境技術センター 所 長 直江 健太郎 (ホームページアドレス) http://www.chugai-tec.co.jp	〒267-0056 千葉市緑区大野台2-2-16 Tel 043-295-1101 Fax 043-295-1110	藤谷 光男 鈴木 信久 (E.メールアドレス) n.suzuki@chugai-tec.co.jp	○	○	○	○	○	○	産・上 悪・試 環・作 理事（業務）
月島テクノソリューション (株) 代表取締役社長 須賀 栄	〒272-0127 市川市塩浜1-12 Tel 047-359-1653 Fax 047-359-1663	技術検証部 須山 英敏 (E.メールアドレス) h_suyama@tsk-g.co.jp	○	○	○				産・上 試
(株)東京化学分析センター 代表取締役社長 森本 薫子 (ホームページアドレス) http:/www.tcac.co.jp	〒290-0044 市原市玉前西2-1-52 Tel 0436-21-1441 Fax 0436-21-5999	髙橋 章夫 森本 薫子 (E.メールアドレス) morimoto@tcac.co.jp	○	○	○				産・上 悪・試
東 京 公 害 防 止 (株) 代表取締役社長 小野 次男	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町 1-8-12 Tel 03-3851-1923 Fax 03-3851-1928	代表取締役社長 小野 次男	○	○	○				上・作
東電環境エンジニアリング(株) 環境技術センター 理事・所長 高野 雅郎 (ホームページアドレス) http://www.tee-kk.co.jp	〒267-0056 千葉市緑区大野台2-3-6 Tel 043-295-8405 Fax 043-295-8407	松本 崇 (E.メールアドレス) matsumoto-takasi@mail.tee-kk.co.jp	○	○	○	○	○	○	産・上 悪・試 環・作

注）特・計：特定計量証明事業　※：県外事業所登録
座：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発

※会員名簿は、一部個人情報を含むものですが、事前に会員各社における担当個人情報取り扱いの了解のもと掲載しております。

10. 会　員　名　簿

会　員　名	連絡場所	連絡担当者	事業区分 濃度 大気	水質	土壌	特・計	音圧	振動・加速度	備　考
東洋テクノ(株) 環境分析センター 代表取締役社長　久保田　隆	〒289-1516 山武郡松尾町田越328-1 Tel　0479-86-6636 Fax　0479-86-6624	代表取締役社長 久保田　隆 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) long-kubota@nifty.com	○	○	○				産・環 上・試
(株)永山環境科学研究所 代表取締役社長　永山　瑞男	〒273-0123 鎌ヶ谷市南初富1-8-36 Tel　047-445-7277 Fax　047-445-7280	環境計量士 永山　瑞男 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) mizuo@ngym.co.jp	○	○	○	○	○	○	産・上 悪・試 環・作
(財)成田国際空港振興協会 会　長　　松井　和治 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.npf-airport.jp	〒289-1601 山武郡芝山町香山新田 字雨堤76番地 Tel　0479-78-2462 Fax　0479-78-2472	調査事業課 課　長 篠原　直明 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) shino@napf.or.jp		○			○	○	
ニッカウヰスキー(株) 環境分析ｾﾝﾀｰ 分析ｾﾝﾀｰ所長　安村　弘人 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.nikka.com/	〒277-0033 柏市増尾字松山967 Tel　04-7172-5472 Fax　04-7175-0290	分析ｾﾝﾀｰ所長 安村　弘人 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) h-yasumura@nikkawhisky.co.jp		○	○				産・上 試
日建環境テクノス(株) 代表取締役社長　辻　達郎 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.kentetsu.co.jp	〒273-0045 船橋市山手1-1-1 Tel　047-435-5061 Fax　047-435-5062	常務取締役 丸山　孝彦 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) maruyama.t@cmail.kentetsu.co.jp		○					監事
日廣産業(株) 環境技術センター 代表取締役　野々山剛史	〒260-0826 千葉市中央区新浜1番地 Tel　043-266-1221 Fax　043-266-1220	杉本　剛士 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) sugimoto0418nikko@tiara.ocn.ne.jp		○					
(株)日鐵テクノリサーチ かずさ事業所 代表取締役社長　加藤　忠一 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.nstr.co.jp	〒293-0002 富津市新富20-1 新日本製鐵㈱総合技術ｾﾝﾀｰ内 Tel　0439-80-2692 Fax　0439-80-2730	山本　満治 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) mi-yamamoto@nstr.co.jp	○	○	○	○	○	○	産・上 悪・試 環・作
日本環境(株) 千葉支店 支店長　宮本　敦夫 (ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ) http://www.n-kankyo.com	〒272-0014 市川市田尻3-4-1 Tel　047-370-2561 Fax　047-370-3050	粕川　博之 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) h_kasukawa@kan-e.co.jp	○	○	○	※	※	※	産・上 悪・試 環・作
日本軽金属(株) 船橋分析センター センター長　石澤　善博	〒274-0071 船橋市習志野4-12-2 Tel　047-477-7646 Fax　047-478-2437	石澤　善博 (E.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ) Yoshihiro_Ishizawa@shinnkkei.co.jp	○	○	○				産・上 試 理事（総務）

注）特・計：特定計量証明事業　※：県外事業所登録
　　産：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発

※会員名簿は、一部個人情報を含むものですが、事前に会員各社における担当個人情報取り扱いの了解のもと掲載しております。

10.会　員　名　簿

会員名	連絡場所	連絡担当者	事業区分 濃度 大気	水質	土壌	特・計	音圧	振動・加速度	備考
(株)日本公害管理センター 千葉支店 支店長　　松倉　達夫 (ホームページアドレス) http://www.home.cs.puon.net/nkkc	〒286-0134 成田市東和田348-1 Tel　0476-24-3438 Fax　0476-24-2096	松倉　達夫 山田　幸男 (E.メールアドレス) nkkc@cs.puon.net	※	※	※		○	○	産・上 試
(社)日本工業用水協会 水質分析センター 所　長　　川島　範男 (ホームページアドレス) http://www.homepage2.nifty.com/jiwa/	〒272-0023 市川市南八幡2-23-1 Tel　047-378-4560 Fax　047-378-4573	副所長 大塚　弘之 (E.メールアドレス) BCL07551@nifty.com		○	○				産・上 試
日本廃水技研(株) 千葉支店 代表取締役社長　荒西　寿美男 (ホームページアドレス) http://www.nissuiken.co.jp	〒272-0143 市川市相之川2-1-21 Tel　047-358-6016 Fax　047-357-6936	斉藤　充 (E.メールアドレス) saitoh@nissuiken.co.jp		○	○				産・試
(財)日本分析センター 会　長　　平尾　泰男 (ホームページアドレス) http://www.jcac.or.jp	〒263-0002 千葉市稲毛区山王町295-3 Tel　043-424-8662 Fax　043-424-8660	精度管理グループ 秋山　正和 (E.メールアドレス) m-akiyama@jcac.or.jp	○	○	○				環境 放射能
日立プラント建設サービス(株) 環境技術センタ センタ長　　加藤　浩二 (ホームページアドレス) http://www.hitachi-hps.co.jp	〒271-0064 松戸市上本郷537 Tel　047-365-3840 Fax　047-367-6921	副技師長 片岡　正治 (E.メールアドレス) m_kataoka@hitachi-hps.or.jp		○	○		○	○	悪・上 試
㈱古河電工エンジニアリングサービス 社　長　　笹岡　源蔵 (ホームページアドレス) http://www.fees.co.jp	〒290-8555 市原市八幡海岸通り6 Tel　0436-42-1608 Fax　0436-42-1796	西本　征幸 中嶋　陽一 (E.メールアドレス) nishimoto@fees.fitec.co.jp	○	○	○				環・作
(株)三井化学分析センター 市原分析部長　堀内　正人 (ホームページアドレス) http://www.mcanac.co.jp/	〒299-0108 市原市千種海岸3番地 Tel　0436-62-9490 Fax　0436-62-8294	市原分析部 安村　則美 (E.メールアドレス) norimi.yasumura@mitsui-chem.co.jp	○	○	○				産・作 試
(株)三井化学分析センター 茂原分析グループリーダー 稲毛　育夫 (ホームページアドレス) http://www.mcanac.co.jp	〒297-8666 茂原市東郷1900 Tel　0475-23-8418 Fax　0475-23-8418	松崎　勝雄 (E.メールアドレス) katsuo-matsuzaki@mitsui-chem.co.jp	○	○	○	※	※	※	産・作 試
(株)ユーベック 代表取締役社長　飯塚　嘉久 (E.メールアドレス) yubec@aqualine.ne.jp	〒292-0004 木更津市久津間613 Tel　0438-41-7878 Fax　0438-41-7876	川岸　決男 (E.メールアドレス) yubec@aqualine.ne.jp	○	○	○		○	○	産・上 悪・作 試

注)　特・計：特定計量証明事業　　※：県外事業所登録

産：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発

※会員名簿は、一部個人情報を含むものですが、事前に会員各社における担当個人情報取り扱いの了解のもと掲載しております。

10. 会　員　名　簿

会　員　名	連絡場所	連絡担当者	事業区分 濃度 大気	水質	土壌	特・計	音圧	振動・加速度	備　考
ヨ　シ　ザ　ワ（株） 柏研究所 代表取締役社長　原　　功 (ホームページアドレス) http://www.yoshizawa-la.co.jp	〒277-0804 柏市新十余二17-1 Tel　04-7131-4122 Fax　04-7131-4124	結城　清崇 (E.メールアドレス) yuuki@yoshizawa-la.co.jp		○	○				
ラ イ ト 工 業（株） 技術研究所 所　長　　　神澤 千代志	〒274-0071 船橋市習志野4-15-6 Tel　047-464-3611 Fax　047-464-3613	飯尾　正俊 (E.メールアドレス) iimasa@raito.co.jp		○	○				

注）特・計：特定計量証明事業　※：県外事業所登録
産：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発

〔賛助会員〕

10. 会　員　名　簿

会　員　名	連絡場所	連絡担当者	事業区分 濃度 大気	水質	土壌	特・計	音圧	振動・加速度	備　考
（株）コ　ス　モ　ス 千葉支店 支店長　　　楡井　正 (ホームページアドレス) http://www.cosmos-flw.co.jp	〒260-0028 千葉市中央区新町18-14 千葉新町ビル7Ｆ Tel　043-248-2391 Fax　043-248-2071	柴田美保子 (E.メールアドレス) shibata@cosmos-flw.co.jp							
（株）東　海　地　質 代表取締役　初瀬川重雄	〒286-0135 千葉市成田市山ノ作134 Tel　0476-24-7120 Fax　0476-24-7121	初瀬川重雄 (E.メールアドレス) green.leaf@io.ocn.ne.jp							
東京テクニカル・サービス（株） 東京支店・分析センター 代表取締役　吉池　詠 (ホームページアドレス) http://www.tts-4u.co.jp	〒279-0022 浦安市今川4-12-38-1 Tel　047-354-5337 Fax　047-352-6637	吉池　　南 (E.メールアドレス) tokyo@tts-4u.co.jp	※	※	※	※	※	※	産・上 悪・試 環・作

注）特・計：特定計量証明事業　※：県外事業所登録
産：産業廃棄物分析、環：環境アセスメント、上：上水分析、悪：悪臭、作：作業環境、試：試験・研究・開発

※会員名簿は、一部個人情報を含むものですが、事前に会員各社における担当個人情報取り扱いの了解のもと掲載しております。

会員名簿の記載事項に変更が
ございましたら、都度、下記書式にて、
千環協事務局宛ファックス願います。

Fax通信

Fax:043−265−2412

千環協:事務局御中
(㈱環境管理センター　東関東支社内)

会員名簿記載事項変更連絡

会員名：

担当者：

今般、記載事項に変更がありましたので下記の通り連絡致します。

変更実施		年　月　日より	
項目		変更（変更項目のみ記載で可）	備考
会員名	社名		
	代表者		
連絡場所	住所		
	TEL		
	FAX		
連絡担当者			
事業区分			

※ 備考：備考欄には、差し支えない範囲内で変更事由を記載下さい。

〔事務局処理〕

受付日	年　月　日	受付No.	
FAX連絡	会長宛	理事会への報告:　年　月予定	
	広報委員長宛	ニュース　年　月(No.　号)変更予定	

― 編 集 後 記 ―

千環協ニュース第７３号をお届けします。

ご案内の様に来年千環協は創立３０周年を迎えます。今号はその記念事業の準備の話題、前会長名取様の「タイ国雑感」、青柳様の「安定した受注をめざして、別の視点から」などの寄稿記事を掲載いたしました。

さて、ここ数ヶ月の話題では二度にわたる大きな地震、台風１４号による大きな被害など自然災害が上げられます。特にハリケーン「カトリーナ」による災害では、あの超大国アメリカにしてどうしてあそこまでの被害になったのか、という素朴な疑問が残ります。

自然災害や、身近では職場の労働災害などに対して日頃からの備え、注意が必要と感じました。今回の内容はいかがだったでしょうか。皆様のご意見・ご感想をいただければ幸いでございます。

来年度は創立３０周年にあたります。記念事業も種々用意しております。今後も会員皆様のご支援、ご協力のほど、宜しくお願い申しあげます。

（執筆担当　安村）

会員各位への寄稿等のお願い

平成１７年度は千環協３０周年にむけた活発な活動が予定されています。千環協ニュースにおいても、定期の活動報告以外で会員各位からの積極的な寄稿記事等を掲載したいと考えています。環境問題、調査・分析・解析技術紹介、環境関連新規技術紹介、環境事業の経営課題等、会員各位の活動のアピールの場として活用を考えていただき、千環協ニュースへの寄稿等のご協力を引き続きお願いいたします。平成１７年度においては、直接広報委員より、寄稿依頼について会員各位にお声をかけたいと考えています。その節はよろしくお願いいたします。

（広報委員長　吉本　優）

広報委員長	吉本　優	㈱環境管理センター
委　員	伊藤　浩征	㈱住化分析センター
	熊田　博	クリタ分析センター㈱
	太鼓地　洋昭	イカリ消毒㈱
	安村　弘人	ニッカウヰスキー㈱
	結城　清崇	ヨシザワ㈱
	吉野　昭仁	習和産業㈱

千環協ニュース第 73 号

平成 17 年 7 月 31 日

発行　千葉県環境計量協会

〒260-0833　千葉市中央区稲荷町 3-4-17 番地

㈱環境管理センター内

TEL　(043)261-1100

印刷　有限会社　千葉写真商会

〒260-0842　千葉市中央区南町 3-12-7

TEL　(043)265-1955

Fax　(043)263-4323